

平成 28 年度漂着水草回収活動参加の御礼と報告

本年度の漂着水草回収活動に参加・協力を頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。

当NPO法人は、猪苗代湖の水質を改善して日本一の座を取り戻すことについて、多くの団体と協力しながら広く県民に呼びかけ、県民運動として取り組むことを目的として昨年度から本格的活動を始めました。主な活動は、毎年秋になると天神浜と松橋浜に大量に打ち上げられる漂着水草の回収作業です。本年度は10月1日(土)から11月6日(日)の毎週土日に両浜で12回の作業を実施し、10月3日(月)に単独企業の協力で実施したものを含めて、延べ13回の作業に総勢1,993名の参加を頂き、水草を239㎡回収することができました。参加人数、回収量とも過去最高に迫る多さでした。

漂着水草は、湖の北部水域の浅い湖底に繁茂した沈水植物（ヒメホタルイやセキショウモ等）が秋になると湖底から脱離し、西風等によって岸に漂着・堆積したものです。そして、これを放置したままにすると腐敗してCOD上昇等の水質汚濁が進行することから、腐敗する前に回収し、堆肥として有効利用することが活動の内容です。

毎回の作業を振り返りますと、秋が深まるにつれて猪苗代湖や磐梯山の姿は移ろい、好天に恵まれた日もあれば厳しい冷たい西風や雨の日もあって、遠くから参加された方々には、誠に申し訳ない気持ちで一杯の日もありました。しかし、13回のどの日も、活動を終えて湖岸を背にする参加者の方々の「お疲れ様でした」の声掛けには、充実感や達成感そして満足感ともとれる笑顔があったことが印象的でした。

中性化が進行した猪苗代湖の現状を鑑みますと、水草の漂着は増えこそすれ少なくなることはないと推察されますので、今後とも役員・スタッフ一同は、本年度の活動を多面的に振り返りながら、「水質日本一」目指して活動内容の充実を図って参る所存でありますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

末筆ながら、参加されました皆様によるしくお伝え下さるとともに、寒さがますます厳しくなっておりますので健康には気をつけて下さい。

平成 28 年 11 月 吉日

特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をのぞく県民会議

理事長 中 村 玄 正



漂着水草回収活動参加者の皆様